

2025年版採点規則 追加と訂正

2026年2月1日版

追加と変更

※赤字が今回の変更点です

P.9 1.6.8 競技者の規律

- 4 場内アナウンスまたは主任審判員の呼び出しを受けた後でなければ演技面に入ることはいけません 呼び出し後は**競技面の後ろ面より**速やかに入場しなければならない

P.28 3.4.4.4 転回系難度

(3) 交差技と組運動の難度

- ② A 転回系の交差技は、転回系の**空中局面**を跳び越えていなければならない
最低条件として、転回系の着地寸前に跳び越えることとする

P.40 3.5.5.3 徒手系難度

(2) 投げ受けを伴った徒手系難度

- ① 演技の中で投げ受けを実施した場合、その間に実施した徒手系(※)の数によって以下のように難度が決められる

ただし、**転回系が含まれていた場合は転回系の難度として採用する**

間に実施した徒手系 ま たは転回系 の数	難度
0回	A
1回	B
2回	C
3回	D
4回以上	E

※ここでの徒手系は、縦軸または横軸で360度回転したもののみを1つとして数える

- ②投げ受けの間に縦回転での3動作をした場合はE難度とする

縦軸のずれは45度まで許容する

P.41 3.5.5.4 転回系難度

- (2) 手具の投げ受けの間に転回系を実施した場合、または転回系を行いながら投げや受けを行った場合

- ① 転回系のみ行われた場合は、その転回系の難度から1ランクアップした難度を採用する

- ② 転回系難度と徒手系難度の両方が行われた場合

転回系の難度と転回系を除いた徒手系の数の難度(3.5.5.3(2)参照)で、どちらか高いほうの難度を転回系難度として採用する。

P.41 3.5.5.5 ボーナス加点

(4) 様々な跳びに対する加点 (最大 0.10 点)

以下の①～③のいずれかを実施した場合

加点…0.10 点求

① 6m以上の移動を伴う 3 回以上の連続跳びに 2 重跳びが連続 3 回以上含まれていた場合

② 3 重跳び以上の跳び連続 3 回のなかで、各跳びの体の形や跳び方の種類が異なる場合

例 (伸身、抱え込み、開脚、クロス跳び等)

P.43 3.6.6.3

(3) 要求要素の有無

⑦ 構成の途切れ

2 秒以上 その都度 減点…0.20 点

5 秒以上 その都度 減点…0.50 点

P.48

3.6.1 徒手系難度

1 跳躍

	種 目	個人	団体 5名実施
13	前後開脚跳び 135°以上	A	A
14	前後開脚跳び片膝曲げ(鹿ジャンプ)開脚135°以上	A	A

3 倒立

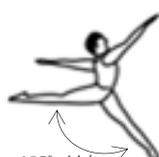
	種 目	個人	団体 5名実施
8	伸腕屈身力倒立 (開脚)	B	C
9	伸腕屈身力倒立 (閉脚)	C	D
10	開脚前拳支持 (脚前拳支持) から伸腕屈身力倒立	C	D

P.49 5 倒立回転

	種 目	個人	団体 5名実施
1	側方倒立回転	A	A
2	前方倒立回転	A	A
3	後方倒立回転	A	A

P.52 1 跳躍

13 前後開脚跳び 135° 以上



135° 以上

個人競技	団体競技5名実施
A	A

14 前後開脚跳び片膝曲げ
(鹿ジャンプ)開脚135° 以上



135° 以上

個人競技	団体競技5名実施
A	A

P. 54 5 倒立回転

1 側方倒立回転

個人競技	団体競技5名実施
A	A

2 前方倒立回転

個人競技	団体競技5名実施
A	A

3 後方倒立回転

個人競技	団体競技5名実施
A	A

8 伸腕屈身力倒立(開脚)

個人競技	団体競技5名実施
B	C

9 伸腕屈身力倒立(閉脚)

個人競技	団体競技5名実施
C	D

10 開脚前拳支持(脚前拳支持)から伸腕屈身力倒立

個人競技	団体競技5名実施
C	D

P. 67 8 個人徒手 4 難度表

		A	B	C	D
		0.1	0.2	0.3	0.4
回 転 向	支 持 回 転	後方肩支持からローリング	前方肩支持からローリング		
		前方倒立回転(片手・両手)			
		後方倒立回転(両手)	後方倒立回転(片手)	後方倒立回転から前後開脚座	
		側方倒立回転(肘着手含む)	後方倒立回転から水平立ちA		後方倒立回転から水平立ちB
	足旋回		開脚旋回ひねり	開脚旋回	
	その他の回転		もぐり回転	トーマス旋回	開脚旋回倒立

P. 81 変更規則 I 新体操男子ジュニア適用規則

2 難度の要求要素

(1)個人競技の投げ上げ回数は2回以上とする。→個人競技の投げ上げ回数は2回以上**5回以下**とする。

2 訂正

P.22 €審判 → (E)審判

3. 3. 1 採点方法

- 3 (A)審判および(E)審判、各4名の審判員の最高点および最低点を除外し、有効点の平均(小数点第4位以下を切り捨て)を集計する

P24 (E)得点 → (A)得点

3. 3. 11 禁止技

転回系において、1回を超える回転をともなった転を禁止技とする。

禁止技を行った場合 (D)得点および(A)得点を0.00点とする

P.30 (4)①D 難度→D 難度以上

②E 難度→それぞれが E 難度で

3. 4. 4. 5 団体競技のボーナス加点

(4) 同一難度に対する加点(最大0.20点)

- ①5名全員が1つのシリーズで、それぞれD難度以上の転回技を行った場合 加点…0.10点
 ②①をE難度で行った場合 加点…0.20点

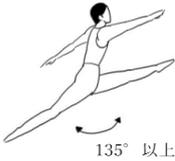
P.48

2. 6. 1 徒手系難度

1 跳躍

4	前後開脚交叉とび(開脚135°以上)	A	B
10	前・後・側で足打ちを伴う跳躍	A	A

P.52 1 跳躍

4 前後開脚交叉とび(開脚135°以上)	
	
個人競技	団体競技5名実施
A	B

10 前・後・側で足打ちを伴う跳躍	
	
個人競技	団体競技5名実施
A	A

P.71 (個人徒手ルール)

14 反りジャンプ 頭一足

C 難度 → B 難度

B(0.2)	
14反りジャンプ 頭一足	
